



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月9日

上場会社名 大日本塗料株式会社
 コード番号 4611 URL <https://www.dnt.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 里 隆幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 永野 達彦
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6266-3102

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	54,122	7.8	3,035	16.5	3,283	20.0	2,185	30.8
2022年3月期第3四半期	50,225	7.5	2,606	41.5	2,734	22.4	1,670	40.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,011百万円 (106.4%) 2022年3月期第3四半期 1,458百万円 (18.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	76.99	76.41
2022年3月期第3四半期	58.98	58.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	94,560	54,181	54.0	1,794.17
2022年3月期	87,705	51,991	55.9	1,730.00

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 51,016百万円 2022年3月期 49,015百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		25.00	25.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	7.5	3,800	19.4	4,200	21.2	3,300	62.4	116.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	29,710,678 株	2022年3月期	29,710,678 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,276,092 株	2022年3月期	1,377,931 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	28,381,717 株	2022年3月期3Q	28,320,032 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する防疫と経済活動の両立が進む一方、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格やエネルギー価格の上昇のほか、世界的な金融引締めが海外景気の下振れや為替相場の急変をもたらすなど、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの経営成績については、売上高は、各セグメントにおける価格転嫁の進展により、541億2千2百万円（前年同期比 7.8%増）となりました。利益面では、価格転嫁の進展と照明機器事業の好調な推移により、営業利益は30億3千5百万円（同 4億2千9百万円増）、経常利益は32億8千3百万円（同 5億4千8百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億8千5百万円（同 5億1千4百万円増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[国内塗料事業]

一般用分野では、構造物用塗料が堅調に推移いたしました。工業用分野では、建材用塗料やプラスチック用塗料の需要が減少し、販売は低調に推移いたしました。当セグメントの売上高は、価格転嫁のさらなる進展により前年同期を上回りました。利益面では、原材料価格上昇の影響を補うまでには至らず、前年同期を下回りました。

この結果、売上高は、398億9千6百万円（前年同期比 6.5%増）、営業利益は16億1百万円（同 9千5百万円減）となりました。

[海外塗料事業]

東南アジア地域では、シンガポール及びマレーシアにおいて主要顧客からの需要が回復しました。北中米地域では、主要顧客の生産減少を受け自動車部品用塗料の需要が減少しました。中国では、新規顧客の獲得等により焼付用塗料の販売が伸長したものの、ゼロコロナ政策による影響を受け主に自動車部品用塗料の需要が減少しました。当セグメントの売上高は、原材料価格上昇に対する価格転嫁の実施や円安による為替換算の影響により、前年同期を上回りました。利益面では、タイ、メキシコ、中国における需要減少及び原材料価格高騰の影響等により、前年同期を下回りました。

この結果、売上高は、59億1千7百万円（前年同期比 15.3%増）、営業利益は2億4千1百万円（同 1千7百万円減）となりました。

[照明機器事業]

業務用LED照明分野では、商業施設向けや建築向けの需要が回復したことに加え、原材料価格上昇に対する価格転嫁の実施により、当セグメントの売上高は前年同期を上回りました。利益面では、売上増加のほか、経費削減に努めたことで前年同期を上回りました。

この結果、売上高は、60億8千3百万円（前年同期比 9.0%増）、営業利益は8億7千4百万円（同 5億1千1百万円増）となりました。

[蛍光色材事業]

加工品分野では、各種イベント類の再開等を受け需要が回復基調にありますが、顔料分野では、国内外の市場において主要顧客の需要が減少し、当セグメントの売上高は前年同期を下回りました。利益面では、原材料価格上昇に対する価格転嫁や経費削減により、前年同期を上回りました。

この結果、売上高は、8億6千万円（前年同期比 5.7%減）、営業利益は5千7百万円（同 2千6百万円増）となりました。

[その他事業]

売上高は、13億6千4百万円（前年同期比 18.2%増）、営業利益は1億4百万円（同 2百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は945億6千万円となり、前連結会計年度末と比較して68億5千5百万円の増加となりました。流動資産は403億3千万円で前連結会計年度末と比較して55億5千7百万円の増加となりましたが、これは受取手形、売掛金及び契約資産の増加36億4千万円、棚卸資産の増加18億4千8百万円が主因であります。固定資産は542億2千9百万円で前連結会計年度末と比較して12億9千7百万円の増加となりましたが、これは有形固定資産の増加11億4千万円、投資その他の資産の増加1億9千万円が主因であります。

負債は403億7千9百万円となり、前連結会計年度末と比較して46億6千5百万円の増加となりました。流動負債は310億2千6百万円で前連結会計年度末と比較して52億3千5百万円の増加となりましたが、これは支払手形及び買掛金の増加27億8百万円、短期借入金の増加28億円、製品補償引当金の減少1億2千1百万円、リース債務の増加1億9千1百万円が主因であります。固定負債は93億5千2百万円で前連結会計年度末と比較して5億7千万円の減少となりましたが、これは長期借入金の減少3億円、リース債務の減少2億1千7百万円が主因であります。

純資産は541億8千1百万円で前連結会計年度末と比較して21億8千9百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加14億5千2百万円、自己株式の減少1億1千6百万円、その他有価証券評価差額金の減少2億円、為替換算調整勘定の増加13億4百万円、退職給付に係る調整累計額の減少6億7千2百万円、非支配株主持分の増加2億6千6百万円が主因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年10月27日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,777	6,741
受取手形、売掛金及び契約資産	16,411	20,052
商品及び製品	5,603	6,605
仕掛品	905	982
原材料及び貯蔵品	3,720	4,488
その他	1,386	1,475
貸倒引当金	△31	△15
流動資産合計	34,773	40,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,323	23,175
減価償却累計額	△14,449	△15,038
建物及び構築物(純額)	7,873	8,136
機械装置及び運搬具	23,441	24,158
減価償却累計額	△19,669	△20,298
機械装置及び運搬具(純額)	3,772	3,859
土地	11,498	12,313
リース資産	1,902	1,777
減価償却累計額	△1,001	△1,070
リース資産(純額)	900	706
建設仮勘定	209	152
その他	6,820	7,351
減価償却累計額	△5,483	△5,788
その他(純額)	1,336	1,562
有形固定資産合計	25,591	26,732
無形固定資産		
リース資産	120	85
その他	254	255
無形固定資産合計	374	341
投資その他の資産		
投資有価証券	7,324	6,973
繰延税金資産	1,794	1,771
退職給付に係る資産	17,264	17,893
その他	608	540
貸倒引当金	△25	△23
投資その他の資産合計	26,965	27,156
固定資産合計	52,932	54,229
資産合計	87,705	94,560

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,340	19,048
短期借入金	3,050	5,850
リース債務	312	504
未払法人税等	429	366
役員賞与引当金	56	—
製品補償引当金	370	249
その他	5,230	5,007
流動負債合計	25,790	31,026
固定負債		
長期借入金	1,200	900
リース債務	981	764
繰延税金負債	5,436	5,339
再評価に係る繰延税金負債	1,303	1,303
退職給付に係る負債	938	995
環境対策引当金	8	—
その他	54	49
固定負債合計	9,923	9,352
負債合計	35,713	40,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,440	2,440
利益剰余金	29,417	30,870
自己株式	△1,582	△1,465
株主資本合計	39,101	40,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,027	2,827
土地再評価差額金	1,882	1,882
為替換算調整勘定	△2	1,301
退職給付に係る調整累計額	5,006	4,333
その他の包括利益累計額合計	9,913	10,344
新株予約権	243	166
非支配株主持分	2,732	2,998
純資産合計	51,991	54,181
負債純資産合計	87,705	94,560

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	50,225	54,122
売上原価	35,292	38,623
売上総利益	14,932	15,498
販売費及び一般管理費	12,326	12,462
営業利益	2,606	3,035
営業外収益		
受取利息	13	10
受取配当金	185	206
その他	261	236
営業外収益合計	460	454
営業外費用		
支払利息	51	56
支払補償費	83	23
製品補償引当金繰入額	103	40
その他	94	86
営業外費用合計	332	207
経常利益	2,734	3,283
特別利益		
固定資産売却益	105	2
投資有価証券売却益	82	8
特別利益合計	188	10
特別損失		
固定資産処分損	94	42
減損損失	0	71
その他	—	24
特別損失合計	95	138
税金等調整前四半期純利益	2,828	3,154
法人税、住民税及び事業税	408	524
法人税等調整額	583	323
法人税等合計	991	847
四半期純利益	1,836	2,307
非支配株主に帰属する四半期純利益	166	122
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,670	2,185

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,836	2,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	△200
為替換算調整勘定	188	1,577
退職給付に係る調整額	△607	△672
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△377	704
四半期包括利益	1,458	3,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,353	2,615
非支配株主に係る四半期包括利益	105	395

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月29日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式22,455株の処分を行いました。また、ストックオプションの権利行使に伴い自己株式79,400株の処分を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が117百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,465百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である日塗化学株式会社及びビーオーケミカル株式会社は、2022年4月1日付で日塗化学株式会社を存続会社、ビーオーケミカル株式会社を消滅会社とする吸収合併を行っており、消滅会社のビーオーケミカル株式会社を連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	37,445	5,132	5,582	912	49,071	1,153	50,225	—	50,225
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	782	—	43	65	891	1,804	2,695	△2,695	—
計	38,227	5,132	5,626	977	49,963	2,958	52,921	△2,695	50,225
セグメント利益	1,696	259	363	31	2,350	107	2,458	147	2,606

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額147百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	39,896	5,917	6,083	860	52,757	1,364	54,122	—	54,122
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	907	5	54	81	1,049	1,787	2,837	△2,837	—
計	40,804	5,923	6,137	941	53,807	3,152	56,959	△2,837	54,122
セグメント利益	1,601	241	874	57	2,775	104	2,880	155	3,035

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額155百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの固定資産の減損損失の計上額は、「国内塗料」において71百万円であります。

なお、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。